

NEWS PORT

number
18
2002
AUTUMN

IDEC YOKOHAMA

発行/財団法人 横浜産業振興公社
〒231-0023
横浜市中区山下町22 山下町SSKビル9F
Tel.045-225-3700



ライトアップされた横浜情報文化センター

INDEX

IDEC ニュース … 2

メンバートピックス … 5
(株)グレイブシステム

特集 活力あふれる商店街 ～元気の真相にせまる～… 6

産学リエゾン広場 … 10
JRC 発 研究開発事例 / ILP が語る上手な産学連携の進め方

経営情報 … 12
中小企業のための人材養成講座 /
経営コンサルタント (株) エム・イー・エル (株) 有隣堂の人財開発③

海外ビジネス情報 … 14

横浜市ニューヨーク事務所長
今注目～中小企業向け輸出特区ご案内、先端産業事情報告、 WBC 国際ビジネスアドバイザー紹介

インフォメーション … 16

横浜情報文化センター～イベント案内、公社職員紹介

起こせはま風!
未来に向けて
IDEC
YOKOHAMA

ヨコハマのITサポーターが集結! ~第1回ビジネス・オークション開催~

新規の顧客獲得、販路開拓を希望する横浜企業に、プレゼンテーションおよび商談のチャンスを提供する毎年恒例の公社イベント「ビジネス・オークション」が9月17日(火)13:00~18:00、情文ホールにて開催されました。

サブ・タイトルは「ヨコハマ発・中小企業のためのIT事情」。横浜のIT関連企業15社が、自社のサービス・製品のプレゼンテーションを通じ、安価で効率的な情報化の進め方を参加者に提案しました。今回はオークション初の試みとして、横浜のIT関連企業38社で構成されるグループ「横浜コンテンツネットワーク(CNY)」との共催でのイベントとなりました。

オークション前半はCNYメンバー7社がプレゼンターとして壇上に立ち、各社の得意分野・技術を引き合いに、中小企業の情報化はどうあるべきかをレクチャー形式で発表。後半は当公社が公募、セレクトした横浜のIT関連企業8社がプレゼンテーションを行い、各社自慢の

サービス・製品をサンプルに、情報化を進める際の具体的な手法を提案しました。

あいにくの雨模様にもかかわらず100名超の参加者を得て、15名のプレゼンターは各社それぞれのやり方で、バラエティに富んだ内容のプレゼンテーションを披露しました。

参加者からは「有益な情報が多く、自社の情報化をすすめるうえで参考になった」「どの会社もアグレッシブに活動している感じが感じられ、また興味深い製品が多くあった」といった評価がある一方、「もっとじっくり聞きたい。1社あたりの発表時間を長くしてほしい」「アピールポイントがはっきりしないプレゼンテーションもあった。事前のリハーサルにも力を入れ、より充実したイベントを目指してほしい」といった意見もあり、次回開催に向けての課題をいただく形となりました。

【お問合せ：産業振興部／新事業育成課】

プレゼンター

第1部

メディアアート(株)、イー・アンド・エーコミュニケーションズ(株)、(株)スプリング・クリーク、(有)フュージョンシス、ユーファクトリー(株)、(有)六面堂、ローラン(株)

第2部

アセットアルカディア(株)、(株)アプライドナレッジ、サンアクセス(株)、(株)ソーワコーポレーション、(株)ドゥーアイティ、(株)ともクリエーションズ、(株)ポートサイド印刷、横浜ITコーディネーター協議会



プレゼンテーション終了後は名刺交換会を開催

ニュービジネスプラン募集中!! —創業するならダンゼン横浜!—

あなたのビジネスプランを個別にトータルサポートします

新たに会社を起こそう!、新しい事業に取り組もう!と考えながら、資金や販売先などに不安を抱いているという方は是非一度ご相談ください。皆様のビジネスプランの内容やニーズに応じて、必要な支援メニューをご提案させていただきます。

具体的な支援メニューは…

- 資金調達…ベンチャーキャピタル等資金支援者との出会いの場の提供、専門家による調達方法のアドバイス、公的資金支援制度のご案内等
- 販路開拓…営業経験豊富なマネージャーからのアドバイス、商談会への出展機会の提供等

その他技術支援、経営支援、パートナーづくり、施設のご案内、国際化支援等様々な支援メニューがあります。皆様からのご応募をお待ちしております。

【お問合せ：産業振興部／新事業育成課】



小売業の方必見！…「IDEC・マーケティングサロン」開催

7月より9月まで月1回のペースで“IDEC・マーケティングサロン”『お客様の購買心理とは』を開催しました。このサロンは、「消費者が購買行動を起こす時はどのような時なのか?」「何が消費者の購買心理に影響するのか?」をテーマとし、昨今の読みにくい消費者購買行動を、人間の心理や行動を考察した購買行動学に基づいて「お客様が買いやすい店」「お客様が買いやすいモノ」は何かを考えるものです。

今回お迎えしている講師の(株)ドムス・インターナショナル代表 松村 清氏は、小売業、卸店、メーカーに対するコンサルをはじめ、講演、執筆、流通視察セミナーのコーディネーターとして第一線で活躍されています。豊かな経験に裏打ちされた講師の言葉は理論的であり、毎回新たな発見があり、各自の経験と照らし合わせて「ああ、こういうことだったのか」とうなずく場面があります。

先生が必ず冒頭で板書される“小売業の不変の法則”は次の通りです。

- ①消費者は常に正しい
- ②消費者は常に変化する
- ③だから、小売業は常に変化しなければならない

現代社会は猛スピードで変化を遂げています。共働き、ワーキングマザーの増加、結婚しない人の増加、終身雇用・年功序列の崩壊、生産・消費のグローバル化、24時間の生活スタイル、高齢化社会などさまざまな変化があります。この変化とともにお客様の生活や価値観も変化していきます。お客様の変化に対応できない小売業は衰退して

いく、死を待つのみ、つまり“Change or Die”というわけなのです。

これは、小売業だけに限らないことで、他の全ての業種にも当てはまることです。外部環境の変化に対応できない業種は、衰退の一途をたどる運命にあります。

これからの小売業は、店舗、サイン、色彩、レイアウト、陳列、商品などを通して、店舗と商品の魅力を十分にアピールし、お客様が足を運びたくなるような店をつくることです。モノ余りの時代は、お客様の問題解決に応えるようなサービスや、買い物をする際の“心地よさ”が求められているのです。

講師の松村氏が米国滞在するため、当サロンは10月から3ヶ月間お休みしますが、また1月から3月までの間に計3回、「魅力あるお店作り」について話を伺う予定です。

小売業をこれから始められる方、また現在お店を営まれている方にぜひご参加いただければと存じます。

今後の開催予定

第4回 1月21日(火)

「お客様はこんな店に行きたい」

第5回 2月 6日(木)

「お客様は商品と価格に何を求めているか」

第6回 3月12日(水)

「1秒で目にとまり15秒で読めるPOP」

中国情報産業分科会へのお誘い

中国ビジネス関心企業の異業種グループ「横浜・中国産業クラブ」では、テーマ別分科会を順次発足させる予定です。まずスタートしたのが、中国とのソフトウェアビジネスに焦点を当てた「中国情報産業分科会」です。

横浜のソフトウェア開発企業が月1回程度定例会を開き、専門家のアドバイスを受けたり、企業同士による交流・情報交換を行うことにより、

中国ビジネスを円滑に進めるための研究会です。

7月23日に開催した第2回定例会では、「中国IT技術者の雇用」をテーマに、東京入国管理局横浜支局から講師を招き、技術者受入に関する法的な問題点や実務における具体的な手続きなどについてのアドバイスを受けました。特に技術者資格については、改定施行されたばかりの告示内容の解説であり、最新の情報収集ができました。

9月3日の第3回定例会においては、中国実務に詳しい弁護士により「中国ソフトウェアアウトソーシング委託契約及び注意点」として、委託契約に関する法的問題について専門的なアドバイスを受けました。具体的な契約書式まで解説を頂き、非常に密度の濃いものとなりました。さらに、参加企業間でのビジネスが発生するなど、相互交流も進んでいます。

中国ビジネスに関心はあるが、今まで踏み出すことの出来なかった企業でも、中国進出横浜企業から本には書かれていない中国情報を得られる絶好の機会です。横浜市内ソフトウェア企業のご参加をお待ちしております。



はま風を起こす企業 ここに現る！

「第2回 IDEC ヨコハマフェア 2002」 11月18日(月), 11月19日(火)開催!!

■ビジネスチャンスをおあなたの手に!!～ビジネスオークション開催のご案内～

ビジネスオークションを11月18日(月)に横浜情報文化センターにて開催します。

第1部として13:30より杉田 望氏(作家)を講師に招き、「時代を読み解くー日本経済はどこへ行くのかー」(仮題)をテーマとした基調講演を行います。

第2部として14:30よりビジネスオークションを開催します。東京工業大学、(株)モスウェル、大川原化工機(株)、(協)みなとみらい21フードコートなど9企業・団体が新製品・新技術等のプレゼンテーションを行い、そ

の後、企業及び一般参加者の方はご興味のある企業・団体のブースにて自由に面談していただく仕組みとなっています。

商談を希望される企業及び一般参加者は、是非ご来場下さい。事前のお申し込みも受けております。詳しくは公社総務課までお問い合わせ下さい。

公社 総務課
TEL.045-225-3700

■新規取引ルートを開拓しませんか?～横浜資材調達商談会 開催のご案内～

資材調達に関する商談会を11月19日(火)13:00より産貿ホール1F展示室にて開催します。日本発条(株)、三菱重工業(株)横浜製作所、トピー工業(株)、(株)アマダマシニックス、(株)タツノ・メカトロニックスの大手バイヤー企業5社が、逆見本市形式で自社の調達希望品目についてプレゼンテーションと展示を行います。テーマは、「金属加工・組立、樹脂加工、ゴム製品、電子部品・組立」です。該当するサプライヤー企業の方にご来場いただき、

各バイヤー企業のブースにて自由に面談を行っていただく仕組みとなっています。

商談を希望されるサプライヤー企業は必見です。是非ご来場下さい。事前のお申し込みを受け付けております。詳しいご案内は公社ホームページをご覧ください。

(10月18日(金)以降掲載予定)

URL:<http://www.idec.or.jp>



あなたも輸入ベンチャー!

輸入ビジネス実践プロジェクト2002 開催

WBC/横浜輸入ビジネス促進センターでは、「東南アジアの生活雑貨」をテーマに、買付・輸入販売のノウハウを学び、創業につなげる実践型セミナーを9月18日～11月13日の全5回にわたり開催中です。

新たにアジア雑貨の輸入ビジネスを通じて創業を志す方や、アジア雑貨の輸入ビジネスを手掛けようとする小売・卸売業者を対象に募集したところ、10代から70代の方まで多数の申込みがあり、選考を行った結果45名の方にご参加いただくことになり、5回のセミナーでは、東南アジアのハンディクラフトを中心に生活雑貨全般の生産管理、輸入販売を手掛けるアジア生活雑貨専門家、江本陸氏をコーディネーターとして毎回多彩なゲストを迎え、なぜ今アジアブームか～メディアと市場の関係、アジア雑貨のマーチャンダイジング、売れるための個性あ

るショップ展開、アジアでの交渉や商品選定のポイント等、様々な視点からアジアの実践的な輸入ビジネスに迫ります。また、買付販売プラン作成のためのワークショップやショップ見学も取り入れ、輸入ビジネスを始めるための知識の習得とともに参加者が自ら考える講座とし、セミナー終了時には各自の輸入ビジネスプランを上げることを目標として活動していきます。参加者は、独自に輸入から店舗展開まで手掛けたいという熱心な参加者が多く、輸入ビジネスの実現を目指して活発な質問が飛び交っています。

セミナー終了後は、参加者の希望に応じて、貿易実務に関する個別相談の対応等、フォローアップを実施していきます。

【国際部/国際事業支援課】

おいしい“ITワイン”をどうぞ…

(株)グレースシステム

PC用パッケージソフト等のコンシューマー向け製品、ファームウェア等の業界向けソフト、携帯電話やデジカメといった組込機器用OSなど、幅広いITビジネスを手がける同社。今回はマルチメディア事業部の活動についてお話をうかがいました。

マルチメディア事業部について 紹介してください

「簡単に、美しい印刷物を作成する」ことを目指した印刷関係技術をパッケージソフトとして商品化するとともに、それらを実現するプリンタの開発ツールを提供しています。いわば「プリンタへの入力から出力まで」を手がけている部署と言えるでしょう。

具体的な製品にはどのようなものがありますか

パッケージという形で消費者のみなさまの目に触れるものとしては、ラベル印刷専用ソフト「夢ぷりんと」が好調です。はがきの宛名やタックシールの印刷、名刺作成といった家庭内での利用から、バーコード、宅配伝票印刷といったビジネス・ユースまで幅広く使える“ラベル印刷ソフトの決定版”であると自負しています。バージョンを重ね、あるPC雑誌ではラベル印刷ソフト部門ベスト3にランク・インされるまでになりました。

また近年販売を開始したものとしては、長尺印刷ソフト「ワイドぷりんと P-style」があります。ロール紙対応のプリンタと組み合わせて、用紙を分割することなく最長で10メートルの印刷物が作成できるというものです。家庭や小規模企業でも手軽に垂幕、横断幕といった宣伝ツールが作成でき、各種の情報を効果的に表現することができます。こちらはパッケージではなく、インターネット上のソフト販売サイト“ベクター”(<http://www.vector.co.jp/>)にてダウンロード販売しており、直販でも扱っています。

プリンタ・メーカー様向けには、ドライバーの開発キット、プリンタ評価検査ツールなど、効率良くプリンタ開発を行うための各種製品を提供しています。



ラベル印刷ソフトの決定版
「夢ぷりんと」

中国ビジネスへの関心をお持ちと 伺っておりますが

当社の製品や技術が、ワールドワイドに通用するかを確かめたいと常々思っていました。その第一歩として中国でのビジネス展開を模索しはじめた段階ですが、当面は言語や法律、商習慣の違いが、どの程度当社のビジネスに影響するのかを調査していくつもりです。

当社の開発用製品は“ソースコード”による提供が多く、中国企業とのビジネスには特に著作権や契約の面で細心の注意が必要だと思っています。とはいえ中国は市場としては魅力的ですし、開発拠点としても将来性があります。貴公社の国際部や上海事務所の力をお借りしながら、情報収集を進めていきたいと考えております。

盛岡にオフィスがありますね

前身となる会社が盛岡にもあったため、その流れを引き継いだ形になっています。IT系企業は都会に立地していなくて、という見方もありますが、盛岡にオフィスがあることで実は人材面でメリットがあります。地元の大学等を出た優秀な人材を、比較的容易に採用できるという点です。現在125名の社員がいますが、50名ほどは盛岡オフィスに勤務しています。

“グレープ”とはおいしそうな 社名ですが、由来は?

ぶどうの一粒(個)から大きな房(調和のとれた集団)になり、また、一粒(要素技術)から房(統合された製品)を作り出したい、という願いが込められています。こうした「ぶどう」を熟成させて「おいしいワイン」をたくさんつくることが、私たちの目標です。

[話:取締役 金子功氏、マルチメディア事業部営業部長 小澤健一氏]

(株) グレープシステム

代 表 者: 代表取締役 多賀 直久

本 社: 横浜市西区みなとみらい 2-3-3
クイーンズタワー B8F

従業員数: 125 名

TEL: 045-222-3751 FAX: 045-222-3760

Webサイト: <http://www.grape.co.jp/>

近年、大学での研究成果を商店街等の課題解決に活かし地域活性化を図ろうとする商学交流事業が注目されています。今回は空き店舗対策に取り組む横浜国立大学と和田町商店街、そしてホームページ等のIT導入に取り組む武蔵工業大学と綱島モール商店会の事例を、その背景となる研究テーマや商店街の声を織り交ぜながら紹介します。

コミュニティオフィス 空き店舗・空き室・小規模遊休 施設等を利用した、 これからのワークプレイスの提案

横浜国立大学大学院工学研究院 助手 秋元 馨



秋元 氏

提案の背景

近年、長引く不況のなかで、各地の既成市街地、とくに多くの商店街は活気を失い、多くの空き室や空き店舗をかかえています。一方、市民の生活観やライフスタイルにも変化が表れています。進展するIT技術が生活の中に入り込み、SOHOという業態が認知され、

テレワーク（情報通信ネットワークを活用して、時間と場所に制約されることなくいつでもどこでも仕事ができる働き方）が注目されています。政府から、パートタイム労働や短時間労働など多様な働き方を認め、ワークシェアリングを促進していく方針も打ち出されています。

こうした動向から、今後ますます、市民が居住する地域で過ごす時間が長くなり、余った時間に会社以外で働いたり、資格試験受験のために勉強する、あるいはボランティアやNPOに携わるなどの活動が活発になることが予想されます。そして、現実の住宅事情（狭い、家庭と職場の混在）を考えるならば、今後、市民がこうした活動を行うことができる場所へのニーズが高まることが予想されます。

コミュニティオフィスの特徴

そこで、商店街の空き店舗や市街地内にあるビル空き室、あるいは公共遊休施設などを「コミュニティオフィス」として利用することを提案します。

コミュニティオフィスとは、都市部郊外に代表されるような住宅地内に立地し、おもに近隣住民が共同で利用する、地域型シェアードオフィス（共用オフィス）のアイデアです。その運営は、開設者と会員（ユーザー）からなる組織が担当することを想定しています。特徴としては（1）ユーザーの居住地近くに立地する、（2）共用

和田町商店街の元気のもと、それは空き店舗活用をはじめとする空間デザインにあり!!
では、その構想の中心にある「コミュニティオフィス」とは？

オフィス、（3）個人でも使える、（4）インターネット等を活用したユーザー同士のコミュニケーション、（5）最小限の設備で廉価な賃料、等があります。既にある類似施設としては、（1）図書館等の市民利用施設、（2）産業振興を目的とするインキュベーションセンター等、（3）パソコン等を備えたレンタルスペース、（4）インターネットカフェやファストフード店等、があります。コミュニティオフィスは、これらと共通点をもちつつ、いずれとも異なる、新しいタイプのワークプレイス像です。

コミュニティオフィスのメリット

コミュニティオフィスには、とくに個人の観点からみて、次のようなメリットが期待できます。（1）[余暇時間増加] オフィスが自宅に近いことで家族と過ごす時間や自由時間をより多くとれる。（2）[自己管理相互支援] 在宅ワークにとくに要求される自己管理能力が、周りに人がいることで自ずと身につく。（3）[家庭内ストレス緩和] 物理的に狭い住宅での在宅ワークにともなう家族側の心理的負担の問題に対処しやすい。（4）[異業種交流による知識増大] 多様な人材との接触を通じて成長機会が広がる。（5）[起業契機] 仕事の獲得、あるいは新



コミュニティオフィスのイメージ
（図版出典／国際フレックスワークフォーラムHPより）

たに起業する契機を得やすくなる。(6)「親子関係支援」子供が親の働く場を身近に感じ、親に対しての理解を増すと同時に社会との接点を作る契機となる。(7)「地縁契機」従来「会社縁」の中で生活していた男性層が地域に目を向ける契機となる。(8)「介護・保育支援」家庭内に被介護者や幼児がいる場合などにはフレキシブルに時間を用いる事が可能となる。

そして、社会的観点からみると、ここから多くのコミュニティビジネスが生まれることが期待されます。

あなたのまちにコミュニティオフィスを つくりませんか!?

昨年来、横浜国立大学では、地元保土ヶ谷区にある和田町商店街の活性化を軸としてよりよい地域づくりをめざす、「和田町いきいきプロジェクト」(平成13～15年度)を展開しています。私もこれに参加し、商店街の吸引力と来街者の滞留時間を増すための空間デザインの一環として、コミュニティオフィスの可能性を検討しています。

これからの近隣商店街は、食料や日用品等を「消費」する場としてだけでなく、地域社会を豊かにするコミュニティビジネスを展開する場としての役割を加えていく必要があるのではないのでしょうか。あなたのまちでもコミュニティオフィスの事業化をめざして、ご一緒に研究しませんか？

—ここで、秋元先生と共同で地域活性化に取り組む和田町商店街の声をきいてみます。

大学との共同プロジェクトによる手応えは いかがですか？

「商店街は地域の顔であり、子供からお年寄りまでが集うコミュニケーションの場であると考えています。ストリートファニチャーの設置や歩行者空間の整備にみられる空間デザインは和田町商店街と地域が元気になるための要素が多く含まれており、コミュニティオフィスは地域活性化の可能性が大いに期待されるものであります。

また、同じ地域に集う仲間同士、店主と地域の住民、そして学生との挨拶や声かけの姿といった良い傾向もみられます。」

(和田町商店街(協) 理事長 村上 弘一氏)

あまり前例のない取り組みだけにご苦労も 多いのでは？

「今回の取り組みには和田町商店街、横浜国立大学、そして行政の保土ヶ谷区の三者が参加しています。単体では果たしがたい目標も、三者が集うことによる相乗効果で実現可能となるわけですが、そのためにはお互いの信頼関係の構築が不可欠です。これまでに幾たびもの意見交換を重ね共通認識を育んできました。」

(和田町商店街(協) 理事 富永 性治氏)

去る9月21日から10月6日に和田町商店街であるイベントが実施されました。商店街の違法駐車を減少させるために牛乳パックによる手作りの車止めを設置し、買い物しやすい環境づくりを行うものです。車止めの製作は地元の子供たちや商店街の方々、そして横浜国立大学の学生・教員が一体となって行われました。(写真参照)

牛乳パックの車止めには作成にあたった子供たちのイラストが描かれ、我が子の作った車止めを見るため親も商店街へ足を運びます。和田町商店街は地域住民の笑顔がこぼれるコミュニティとしてにぎわっています。



牛乳パックによる車止めの製作風景

和田町商店街協同組合

代表者：理事長 村上 弘一

所在地：横浜市保土ヶ谷区和田1-18-6

T E L : 045 - 331 - 5501

<http://www.wadamachi.net>

横浜情報文化センター〈日本大通りの賑わい拠点に〉

前号でもお知らせしましたが、「横浜情報文化センター」ではこの秋から多彩なイベントを開催し、関内・山下地区の活性化と「日本大通り」の賑わいづくりの演出を行います。今回は、昼休みの時間に開催されるミニコンサートと、クリエイターが作り上げたデジタルコンテンツのコンテストのご案内をします。

詳細については、公社ホームページでもご案内しています。

日本大通り昼休みコンサート

憩いと潤いのひとときをお届けします

横浜情報文化センター 1 階にて、中区役所との共催で「日本大通り昼休みコンサート」を開催します。短い時間ですがお立ち寄りいただき、皆様にホッとした気分になっていただければと思います。

と き 10 月 22 日(火)
ワダタウンポケットオーケストラ

10 月 23 日(水)
田村美沙 & 今田あきら (ジャズ)

10 月 24 日(木)
臼居則子・基 (ソプラノ & ピアノ)

※出演者は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

じかん 12 時 20 分～ 12 時 55 分
ところ 横浜情報文化センター 1 階 情文プラザ

第 1 回デジコンフェスタ横浜

デジタルコンテンツの楽しさ・おもしろさを幅広い年代の方々に知っていただくとともに横浜におけるコンテンツ産業の発展をめざして、コンテストを開催します。同時に情文プラザにおいてホームページや映像・パネル等による作品の展示発表を行います。

と き 11 月 21 日(木) 10 時～ 21 時
(コンテスト表彰式は 18 時～ 19 時/於・6F ホール)

11 月 22 日(金) 10 時～ 20 時

ところ 横浜情報文化センター 1 階 情文プラザ

内容 「横浜」をテーマにしたホームページ、デジタルアート作品等の展示発表

展示会場となる情文プラザでは、公衆無線 LAN の設備やインターネット体験ができるコーナーの設置も予定しております。お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

職員トーク < 1 年目 > ———

阿保：公社の印象はどうか？

稲石：親切な方が多いですね。まだ入社したばかりで分からない事も多いですが、皆さん丁寧に教えてくださるので本当に有難いです。

阿保さんは入社してもうすぐ 1 年が経つそうですが、だいぶ慣れましたか？

阿保：そうですね～公社の雰囲気にはだいぶ慣れましたが、仕事では先輩方に教わり通しの 1 年間でしたので、早く自分の考えで行動できるように頑張りたいです。

仕事の話はこれくらいにして、稲石さんの趣味を伺ってもいいですか？

稲石：趣味ですか？結構幅広いですね(笑)。集中すれば何でも趣味になってしまって、熱しやすく冷めやすいというか。学生時代は剣道をやってました。歩くのも好きで、多少の距離なら苦になりませんよ。

阿保：では、結構体育会系なんですね。ソフトボールはどうか？クラブじゃないですが、月 1 回職員の皆が集まってやってるんですよ、女性はいないですが。

稲石：皆さん、仲いいんですね。では、今度応援に行きます(たぶん)。

2 人：それでは、横浜経済と公社の発展に貢献できるよう努力していく所存ですので、皆さんよろしく願いいたします。

*稲石光恵(左)
所属：産業振興部
新事業育成課
平成 14 年 9 月入社

*阿保義智(右)
所属：産業振興部
産業振興課
平成 13 年 10 月入社



稲石(左) 阿保(右)

本紙掲載内容に関するお問い合わせ

(財)横浜産業振興公社

総務部／総務課

〒 231-0023 横浜市中区山下町 22
山下町 SSK ビル 9F

TEL:045-225-3700 FAX:225-3737

URL <http://www.idec.or.jp>